

8月13、14日

第69回町内優勝野球大会

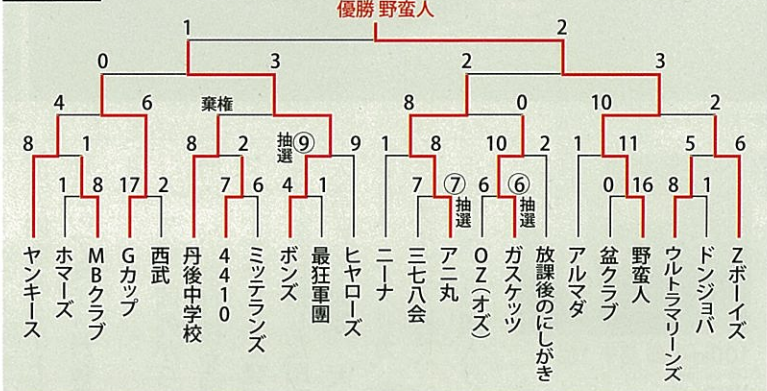
盆に白球追いかけて交流

丹後町の夏の恒例行事である「第69回町内優勝野球大会(盆野球)」(市体育協会丹後支部主催)が、8月13、14日の2日間、豊栄山村広場と丹後中学校の両グラウンドで開催され、23チーム、200人を超える選手が熱戦を繰り広げました。



▲世代を超え対戦するボンズ対ヒャローズ(丹後中学校グラウンド)

大会結果



終戦翌年から続く本大会は、地元住民のほか、盆で帰省した地元出身者らが参加し、今年も16〜70歳と幅広い年齢層で構成された個性溢れるチームが、優勝を目指して集結しました。

大会はトーナメント戦で、13日には2回戦までの15試合、翌14日には準々決勝からの7試合が行われました。決勝は、3連覇を狙う強豪チーム「ボンズ」と、結成10周年の28、29歳の同級生チーム「野蛮人」が対戦。2点を先制した「野蛮人」が1点差で逃げ切り、2度目の優勝に輝きました。

福井県から帰省中で、同級生チーム「ドンジョバ」メンバーの山中英樹さん(丹後町是安出身)は「今年で出場10回目になります。年に1度、同級生に会って老け具合を確認することを楽しみにしています」と笑顔で話していました。



▲後輩らに熱い想いを語る野村克也さん

9月30日

峰高OBの野村克也さん 母校・峰山高校で講演会

9月30日、元プロ野球選手で京丹后市名誉市民の野村克也さん(79歳)が、母校の府立峰山高校体育館で行われた講演会に出席し、現役を引退した34年前にも峰山高校で講演を行っていた。

野村さんは、今回、当時高校生だったPTA役員が「今の生徒にもぜひ聞かせたい」と学校に提案し実現しました。野村さんは全校(本校・分校)生徒約750人に、野球を通しての人生論や、夢を持つこと、努力を続ける

ことの大切さを熱く説きました。「何事も成し遂げるには努力を続けること。努力に即効性はないが、こつこつ努力すればいつか結果は出る」と話す偉大な先輩の言葉に、後輩らは熱心に耳を傾けました。講演会を聞いた生徒の一人廣瀬千夏さん(2年生)は「人生というドラマの主役は自分自身」と言う言葉が心に残りました。夢を持ち努力を続けたいと思います」と話しました。



▲大会記録を更新した小塚美弥さん 100mの走り

9月7日

京丹後市総合体育大会 2種目で大会新記録

「京丹後市総合体育大会」(市体育協会主催)が9月7日、峰山途中ケ丘公園グラウンド(峰山町)をメイン会場に開催され、小塚美弥さん(網野町高橋)が100m、走幅跳の2種目で大会記録を更新しました。

83で、ともに大会記録を更新。「記録を更新できてうれしいです。マスタートーズに向けて自信ができました」と声を弾ませました。総合体育大会の結果は、峰山支部が総合優勝、準優勝に大宮支部、3位は久美浜支部、以下、網野支部、丹後支部、弥栄支部。9月28日の「第22回奈良マスタートーズ陸上競技選手権大会」小塚さんの結果 60m 8秒32、走幅跳 5m32(ともに京都府新記録)

京都で金! 勢い増して全国へ!

日本ペタンク選手権大会出場



▲(左から)藤村泰子さん、井上紀子さん、家原綾乃さん

市内のペタンクチーム「丹ベタ チームアヤノ」が10月25、26日に福知山市の三和荘グラウンド他で開催される第29回日本ペタンク選手権大会に出場します。出場を決めた井上紀子さん(峰山町杉谷)、家原綾乃さん(大宮町口大野)、藤村泰子さん(大宮町口大野)は、京都府選手権大会でみごと初優勝し、京都府代表5チームに選ばれました。一昨年出場の日本選手権大会では予選リーグ敗退。主将の井上さんは「まずは予選突破! 3人のチームワークでリベンジを果たしたい。桜援(おうえん)よろしくお願いします」と意気込みを語りました。